

別紙 7

- 【薬効分類】 399 他に分類されない代謝性医薬品
- 【医薬品名】 ゴレドロン酸水和物（骨粗鬆症の効能を有する製剤）
- 【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

【「医療用医薬品の電子化された添付文書の記載要領について」（令和3年6月11日付け薬生発0611第1号局長通知）に基づく改訂（新記載要領）】

下線は変更箇所

現行	改訂案
<p>9. 特定の背景を有する患者に関する注意</p> <p>9.2 腎機能障害患者</p> <p>重度の腎機能障害（クレアチニンクリアランス35mL/min未満）のある患者</p> <p>投与しないこと。急性腎障害を起こすことがある。</p>	<p>9. 特定の背景を有する患者に関する注意</p> <p>9.2 腎機能障害患者</p> <p>重度の腎機能障害（クレアチニンクリアランス35mL/min未満）のある患者</p> <p>(1) 投与しないこと。急性腎障害を起こすことがある。</p> <p>(2) <u>国内の医療情報データベースを用いた疫学調査において、骨粗鬆症の治療にビスホスホネート系薬剤を使用した腎機能障害患者のうち、特に、高度な腎機能障害患者（eGFRが30mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満）で、腎機能が正常の患者と比較して低カルシウム血症（補正血清カルシウム値が8mg/dL未満）のリスクが増加したとの報告がある。</u></p>

【参考】 MID-NET®を用いた調査結果の概要（MID-NET®を用いたビスホスホネート製剤の腎機能障害患者における低カルシウム血症のリスク評価に関するデータベース調査）：

<https://www.pmda.go.jp/files/000249186.pdf>